

# BCP対策を見据えたIPセントレックス<sup>※1</sup>のご提案

経営基盤強化

## 株式会社オークネット様

BCP対策の強化は実感しないことが何よりですが、リスクを分散できた安心感は非常に大きいですね。

人事総務部 総務・法務グループ 統括マネージャー 清水裕様  
人事総務部 熊谷剛様

1985年、世界で初めて通信による中古車の電子商取引「TVオーケーション」事業を開始された株式会社オークネット様。日々の業務において通信回線機能は要であることから、老朽化した交換機の見直し及び本社移転等を視野に入れてIPセントレックス<sup>※1</sup>を導入されました。さらに、万一の自然災害に備えて冗長化を図るべく、電話交換機装置(CSMサーバー<sup>※2</sup>)を分散化して導入。BCP対策を強化されています。

### 課題

- 1 本社の移転計画を視野に入れ、老朽化した電話交換機及び、音声系ネットワークを見直したい。
- 2 オフィスのレイアウト変更の都度、発生する電話配線工事費用を削減したい。
- 3 BCP対策として、東京本社のPBXがダウンしても業務を滞りなく行うための対策を講じたい。



### Company Profile

会社名：株式会社オークネット  
所在地：東京都港区北青山二丁目5番8号 青山OMスクエア  
従事者数：295名(2014年1月1日現在)  
主な業務：中古車をはじめ、バイク、花き、デジタルプロダクト、ブランド品、医療機器など多彩なTVオーケーション事業を展開。  
URL : <http://www.aucnet.co.jp>

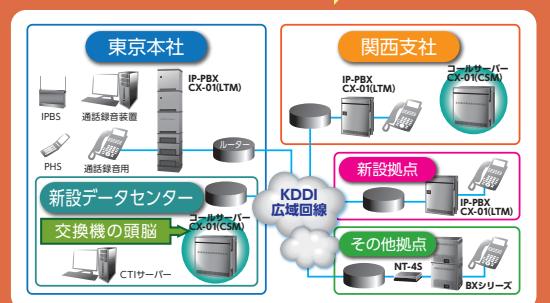
拠点ごとに交換機を設置しているため、災害時はどこの拠点も本社の業務をバックアップできなかった。  
また、レイアウト変更に伴うコストも大きな課題に。



### 効果

- 1 移転前にIPセントレックス化したことにより、業務を止めることがなくスムーズに本社を移転することができた。
- 2 IP-PhoneとPHSシステムの導入により、移増設工事費用も大幅削減し、座席移動も簡単にできるようになった。
- 3 交換機の頭脳であるCSMをデータセンター及び、関西支社にも設置し、万一どちらかの拠点が自然災害等の被害を受けても企業活動が継続可能な体制に。

データセンターに交換機の頭脳であるCX-01 (CSM) を導入。同様に関西支社にもCSMを導入することで冗長化を図り、関西支社で東京本社の業務を代行できるようになった。



※1. IPセントレックス：PBXなどの電話設備を、企業がIP網経由で利用できる電話サービス。企業内の電話システムをIP電話に切り替え、通信事業者が提供するサーバに接続して通話などを行う。

※2. CSMサーバ：IPセントレックスの核となるコールサーバ。データセンター以外の拠点にバックアップ用コールサーバとして設置することで、災害時の冗長化を図ることができる。

# お客様 インタビュー

Customer Interview

株式会社オーケネット  
人事総務部  
総務・法務グループ  
統括マネージャー  
清水 裕 様

株式会社オーケネット  
人事総務部  
熊谷 剛 様

## ■ 導入の背景

### PBXのIP化と冗長化による BCP対策を検討。

株式会社オーケネット様ではかねてから本社移転を検討されており、そのタイミングに合わせて老朽化した交換機の見直しを行うことを計画していました。

「12年も使用していましたので老朽化が著しく、故障する内線も始めていた状態でした。保守部品の供給も打ち切られ、このままでは保守サービスを受けられないということで、急遽、交換機の入れ替えに踏み切りました」(熊谷様)。また、オフィスのレイアウト変更の都度発生する、電話配線工事のコストも課題の一つでした。その払拭に向け、オーケネット様ではIPセントレックスの導入を検討されました。さらに、もう一つの理由として、多い日で3000件にもおよぶオーケーションが一瞬たりとも止まることのないよう、BCP対策の面でも魅力を感じたと語って下さいました。

「本社に集約しているほとんどの業務が顧客と電話を介してやり取りする業務であることから、緊急事態発生時には冗長化されたコールサーバーにより、札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡といった他の拠点でも事業展開できる体制づくりが急務でした。IPセントレックス化と同時に他の拠点にも交換機の頭脳であるコールサーバー(CSM)を設置し、且つ冗長化を図ることで、緊急事態のBCP対策にもなると考え導入に至りました」(清水様)。



オーケーション業務において通信回線はまさに生命線

## ■ 選定のポイント

### リコージャパンなら 事前の打ち合わせもほぼ不要。

IPセントレックスの導入に際しては、5社ほどの業者を候補に挙げ検討されていた清水様

と熊谷様。その中からリコージャパンを選定した理由は、これまでPBX、LAN/WAN、回線ビジネス及びCTIシステム等をリコージャパンに依頼しており、約20年に及ぶ付き合いの中で培われた信頼関係が最終的には大きかったと振り返られます。

「これまでネットワーク全体をシステム担当の穴久保さんに取りまとめていただいているので、CTI連携が最重要ポイントであるPBX導入でもスムーズに移行できると考えました」(熊谷様)。「リコージャパンさんは、技術担当の方を含め当社のニーズをかなり詳細まで把握されていたので、IPセントレックス化にあたっては費用対効果のバランスに優れた提案を頂くとともに、こちらの気づかない点までしっかりフォローして頂くことができました」(清水様)。

## ■ 導入の効果

### IPセントレックス化により、業務を 止めることなくスムーズに移転完了。

2012年12月、東京本社・関西支社・データセンター間をIPセントレックス化されたオーケネット様。災害時にも東京本社の業務を止めないよう、関西支社とデータセンターにCX-01(CSM)を冗長化させ導入し、BCP対策を強化されました。それから約6ヶ月後、本社移転が決定し、11月の毎週土日、4週間に渡り順次移転することになりました。移転日時が異なり混乱も予想されましたが、事前にIPセントレックス化してあったことでスムーズに移転を完了することができました。また、リコージャパン担当営業の藤村は、週1度のスパンで行われる工事定例会において、作業進捗管理と課題管理を徹底し、トラブルが起らぬよう定例会を進めました。「オーケーションを止めないように、毎週土日、4週間に渡り移転を行ったのですが、キャリアの回線工事を最小限に抑えるなど、スケジュール調整に尽力頂いた藤村さんに

導入システム・サービス

## NETTOWER CX-01

音声、ビジュアル、モバイルを融合し、次世代のコミュニケーション機能を1台に集約。PBX機能をサポートし、従来回線、IPのいずれにも対応した“シンプル”なネットワーク構築が可能です。

(株式会社日立情報通信エンジニアリング)

はとても感謝しています。」(熊谷様)。

また、清水様は移転作業中に感じたIPセントレックス化のメリットをこのように語ります。「通常であれば移転と同時に電話番号が変わるために、その都度お客様等へアナウンスしなければいけないので、IP化しておいたおかげで先に移転したセクションも従来の電話番号をそのまま使えたため、移転完了後に一度のアナウンスで済ませることができました。これは非常に助かりましたね」(清水様)。



リコージャパン藤村裕一(右)、穴久保勝(隣)とともに

## ■ 今後の取り組み

### フリーアドレスの実現により、 新しい発想に期待。

昨年12月に本社機能を現在の青山に移転され、オフィスをフリーアドレス化され、IPセントレックスのメリットを存分に活用されています。「今まで席が変わると内線番号も変わってしまいましたが、IP電話や内線PHSなら電話機を持ち歩けばどこでもいつも通りの仕事ができる。このような新しい働き方の実現を通じて、新しい発想、新しいビジネスが生まれることに期待したいですね」(熊谷様)。

最後に清水様が、今後への期待を込めてこのように締めくくって下さいました。「BCP対策の効果は実感しないことが何よりですが、東京本社に集中していたリスクを分散できた安心感は非常に大きいですね。今後も豊富なノウハウとネットワークを活かした、多角的なサポートに期待しています」(清水様)。

## ■ 保守およびLAN/WAN設計・構築

商品の購入から構築、メンテナンスまでを一貫してお受けすることで、スピーディで高品質なサービスを提供。万一の故障時も、全国に広がる拠点からスキルの高い技術者が訪問し対応いたします。(リコーグループ)



オンラインショッピングはもちろん、リコー機器の活用サポートや  
業務効率化支援を含めた、総合インターネットサービスです!

<http://www.netricoh.com>

**RICOH**  
imagine. change.

リコージャパン株式会社

東京都中央区銀座8-13-1 リコビル 〒104-8180

<http://www.ricoh.co.jp/>

本カタログは、リコーが提供する新しいクラウドサービスであるClickable Paper™サービスに対応しています。

iPhone/iPad/Android™アプリケーション「TAMAGO Clicker」(無料)をダウンロードし、カタログの表紙を撮影(クリック)すると、インターネット上の関連情報をご覧いただけます。  
※iPhoneおよびiPadは、Apple Inc.の商標です。※Android™はGoogle Inc.の商標です。



このカタログの記載内容は、2014年4月現在のものです。